

受験上の注意事項

- ① 受験票は必ず持参してください。試験時間中は、机の上の受験番号ラベルと並べて置いてください。
- ② 受験票を忘れた場合は、係員に申し出てください。
- ③ 各試験開始時刻の20分前までに試験室に入室し、着席しておいてください。
- ④ 筆記試験開始30分経過後の遅刻者は受験できません。面接の場合は試験開始の20分前を面接集合時間とします。面接集合時間から30分経過後の遅刻者は受験できません。
- ⑤ 試験時間中、「受験票」のほかに机の上に置けるものは、「黒鉛筆（H、F、HBに限る）」「プラスチック製の消しゴム」「鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類を除く）」「時計（辞書や電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものを除く）」「眼鏡」「ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）」「目薬」です。ただし、シャープペンシル（黒い芯に限る）は、メモや計算に使用する場合に限り机の上に置いてかまいません。シャープペンシルの芯はケースから中身を取り出したもののみ机の上に置くことができます。これら以外の所持品を使用または机の上に置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。また机の中には何も入れないでください。
- ⑥ 「そろばん」「電卓」「グラフ用紙」「定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）」「コンパス」等の補助具や、「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「腕時計型端末」「ICレコーダー」等の電子機器類は使用できません。また、和歌・格言・英単語等が印刷されている鉛筆等は使用できません。これらを使用した場合は、不正行為とみなします。
- ⑦ アラームや時報機能のついた時計は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除してください。
- ⑧ 試験時間中に使用すると不正行為となる電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばんに入れておいてください。試験時間中に、これらをかばんから取り出したり、操作した場合は、不正行為とみなします。
- ⑨ 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- ⑩ 「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
- ⑪ 試験時間中の途中退室は認めません。試験中の発病又はトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて係員の指示に従ってください。
ただし、一時退室が認められた場合でも、試験室以外での受験はできません。また、一時退室に要した時間については、試験時間の延長は認めません。
- ⑫ 不正行為者は、すべての成績を無効とします。また、当該日以降、今年度の受験は認めません（入学検定料は返還しません）。
- ⑬ 試験時間中は係員の指示に従ってください。